

第4章 指標の設定

- 1 指標設定の考え方
- 2 重点課題と目標値の関連
- 3 評価指標項目と目標値

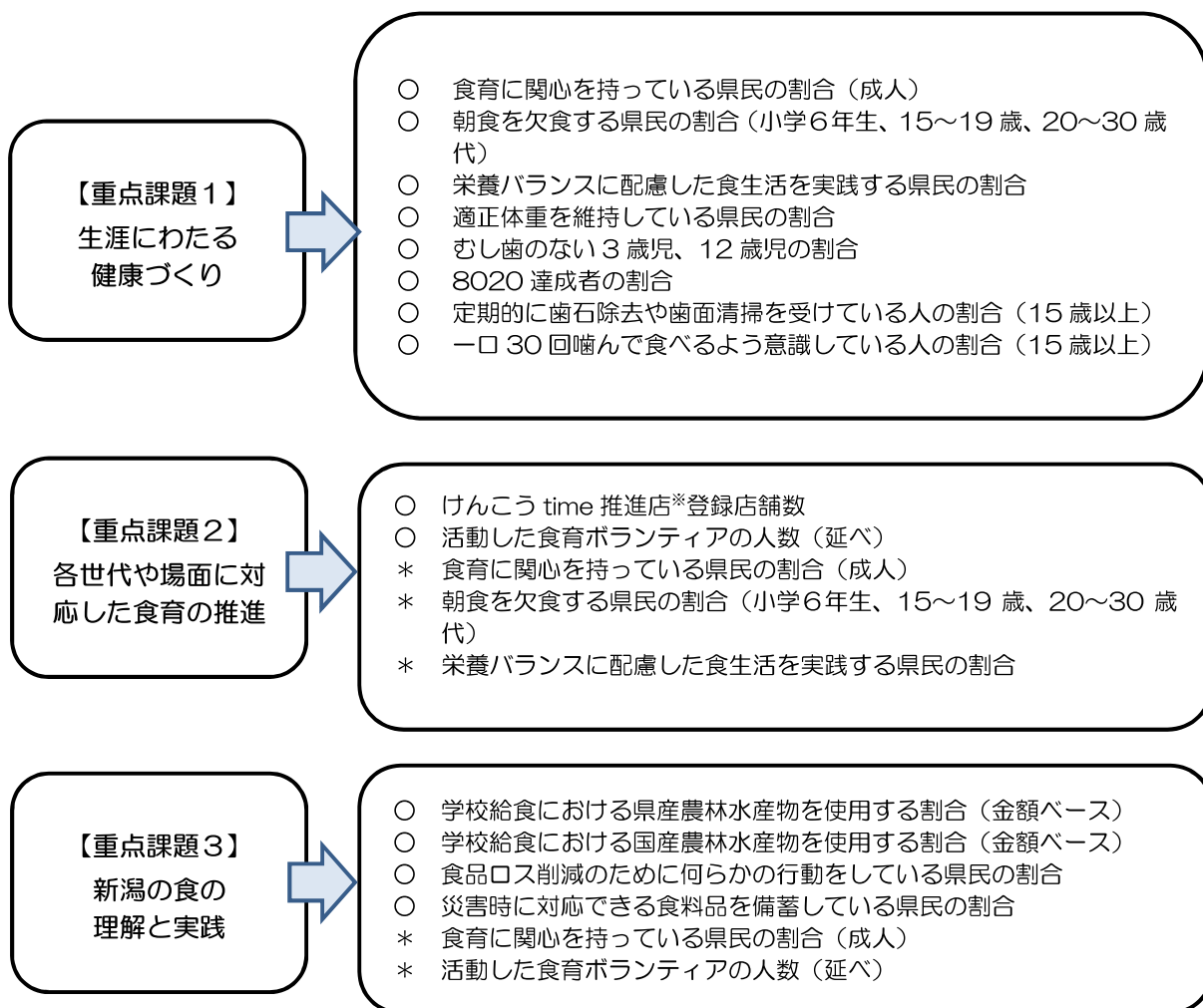
1 指標設定の考え方

指標は、県の施策により効果が期待できるものを設定します。

なお、指標設定に当たっては、第2次計画の指標と国が示した指標を勘案し、継続的に把握が可能な指標を設定します。

また、指標の目標値設定は「健康にいがた 21（第3次）」と同様、令和6年度までの目標値を設定します。

2 重点課題と目標値の関連



*：再掲

※けんこう time 推進店

新潟県独自の基準を満たしたそう菜を販売し、望ましい食生活について普及啓発を行う店として、県が登録したスーパーマーケット等

3 評価指標項目と目標値※1

重点課題	評価指標項目			現状値 (R1)	目標値 (R6)	長期目標値(R4) 【第2次計画で設定】	出典
1,2,3	食育に関心を持っている県民の割合(成人)			55.6%	90%	90%	県民健康・栄養実態調査
1,2	朝食を欠食する県民の割合	小学6年生		3.3%	0%	－	全国学力・学習状況調査質問紙調査
		15～19 歳		2.1%	0%	－	県民健康・栄養実態調査
		20～30 歳代		19.8%	15%	－	県民健康・栄養実態調査
1,2	栄養バランスに配慮した食生活を実践する県民の割合	ふだんの食事で主食・主菜・副菜をそろえることを意識している人の割合(成人)		R2 把握	増加させる	－	県民健康・栄養実態調査
		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合(成人)		44.6%	80%	80%	県民健康・栄養実態調査
		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合(20～30 歳代)		32.2%	55%	52%	
		ふだんの食事における減塩の取組状況(成人)		63.8%	80%	80%	
		食塩摂取量(成人)		10.3g	8g 未満	9g 未満	
		野菜摂取量(成人)		325.2g	350g	350g	
		果物摂取量 100g 未満の人の割合(成人)		61.5%	39%	39%	
1	適正体重を維持している県民の割合	肥満傾向にある子どもの割合(小学5年生)	男子	11.3%	7.0%	7.0%	学校保健統計調査
			女子	10.4%	7.0%	7.0%	県民健康・栄養実態調査
		20～30 歳代女性やせの人の割合		22.5%	20%	－	
		20～60 歳代男性肥満者の割合		31.1%	24%	24%	
		40～60 歳代女性肥満者の割合		25.2%	18%	18%	
		低栄養傾向(BMI20 以下)の高齢者(65 歳以上)の割合		16.8%	18%	16%	
1	むし歯のない3歳児の割合			(H30) 90.4%	95%	90%	母子保健事業報告
1	むし歯のない12歳児の割合			84.4%	90%	81%	歯科疾患実態調査(小児)
1	8020達成者の割合			36.6%	40%	40%	県民健康・栄養実態調査
1	定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合(15 歳以上)			25.8%	30%	－	
1	一口30回噛んで食べるよう意識している人の割合(15 歳以上)			19.6%	30%	30%	
2	けんこう time 推進店登録店舗数			127 店舗	増加させる	－	健康対策課調査
2,3	活動した食育ボランティアの人数(延べ)			88 人	110 人	－	食品・流通課調査
3	学校給食における県産農林水産物を使用する割合(金額ベース) ^{※2}			66.1% [全国9位]	全国7位以内を目指す	－	地場産物活用状況調査
3	学校給食における国産農林水産物を使用する割合(金額ベース) ^{※2}			91.6% [全国7位]	全国5位以内を目指す	－	
3	食品ロス削減のために何らかの行動している県民の割合			R3 把握	80%	－	廃棄物対策課調査
3	災害時に対応できる食料品を備蓄している県民の割合			33.0%	36%	現状(H25)より5%増	県民・健康栄養実態調査

※1 目標の設定と目標値の考え方は、P51、52 参照

※2 6月と11月の各1週間を調査期間としています。また、目標は通年の目標値です。